

RFマトリクススイッチボックス
MM6000
シリーズ

多数の基地局と端末のフィールドにおける無線環境シミュレーション(ハンドオーバー)

RFマトリクススイッチボックス MM6000シリーズは、複数の入力ポートと出力ポートをもつRF信号切替装置です。

アプリケーションソフトにより、信号経路を高速且つマトリクス状に切替え、入力信号を任意の出力ポートへ導くことができます。

更に、全ての出力ポートに電子式プログラマブルアッテネータを搭載しており、RF信号をシームレスに減衰させることができます。

- 複数(24または16)の入力ポートへ入力されたRF信号を8つの出力ポートから選択して出力。
ただし、入力ポートと出力ポートは双方向性
- 入力および出力ポートの組合せならびにアッテネータ制御をLAN内のPCから遠隔操作
- リモートアクセス機能(CLIコマンド)により、外部アプリケーションとのTCP/IPのソケット通信が可能
- アプリケーションソフトを標準添付



24×8 RFマトリクススイッチボックス MM6824



16×8 RFマトリクススイッチボックス MM6816

標準仕様

	MM6824	MM6816
周波数帯域	700MHz～4GHz	
VSWR	2.0以下	
最大入力レベル(基地局側)	1W(+30dBm)	
最大入力レベル(端末側)	200mW(+23dBm)	
挿入損失	20dB(代表値)	
アイソレーション	80dB以上(スイッチ) 17dB以上(スプリッタ)	
入出力ポート数(基地局側)	24	16
入出力ポート数(端末側)	8	
入出力組み合わせ	1対1	
RFコネクタ	SMA(J)	
インピーダンス	50Ω	
スイッチ	リレー式	
アッテネータ	電子式(デジタル)	
アッテネータ減衰量	0～95.5dB(0.5dBステップ)	
インタフェース	LAN	
寸法	482.6(W)×443.7(H)×550.0(D)mm(突起物等除く) 10U:19インチシステムラックマウントに収容可	
重量	約50kg	約45kg
電源	AC100V(50/60Hz)	

※上記と異なる仕様への対応については、弊社営業担当までご相談ください。

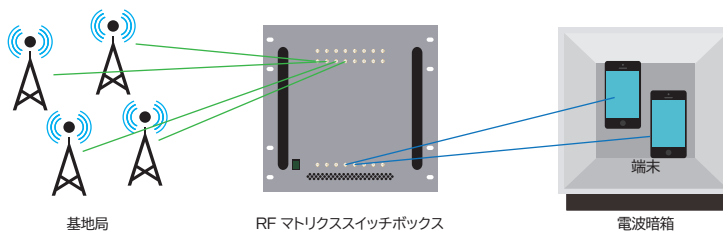
アプリケーション

複数CA間ハンドオーバー、4×4MIMOなどの伝搬路環境をGUIで制御できます。

端末を商用電波から隔離するための電波暗箱(シールドボックス)も弊社にて製造販売しています。

※用語解説

- CA = キャリアアグリゲーション(Carrier Aggregation)。異なる複数の周波数の電波(回線)を束ねて、速度を高速化する技術のこと。
- MIMO = マイモ(Multiple-Input and Multiple-Output)。基地局側と端末側でそれぞれ複数のアンテナを使い、同じ周波数の電波で複数のデータを同時に送受信する技術のこと。

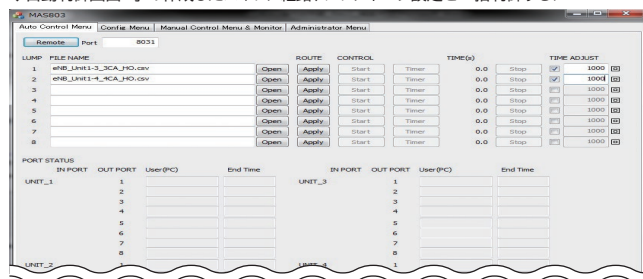


制御ソフトウェア

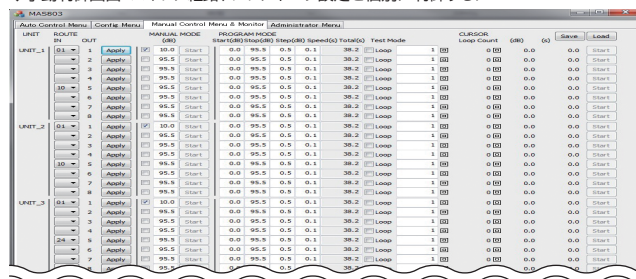
LAN内のPCから遠隔操作を行うためのアプリケーションソフトです。

他の利用者が使用しているポートは排他されるため、誤操作を防ぐことができます。GUI上から、最大4台のRFマトリクススイッチボックスを制御できます。

◇自動制御画面：予め作成したスイッチ経路、アッテネータ設定を一括制御するメニュー



◇手動制御画面：スイッチ経路、アッテネータ設定を個別に制御するメニュー

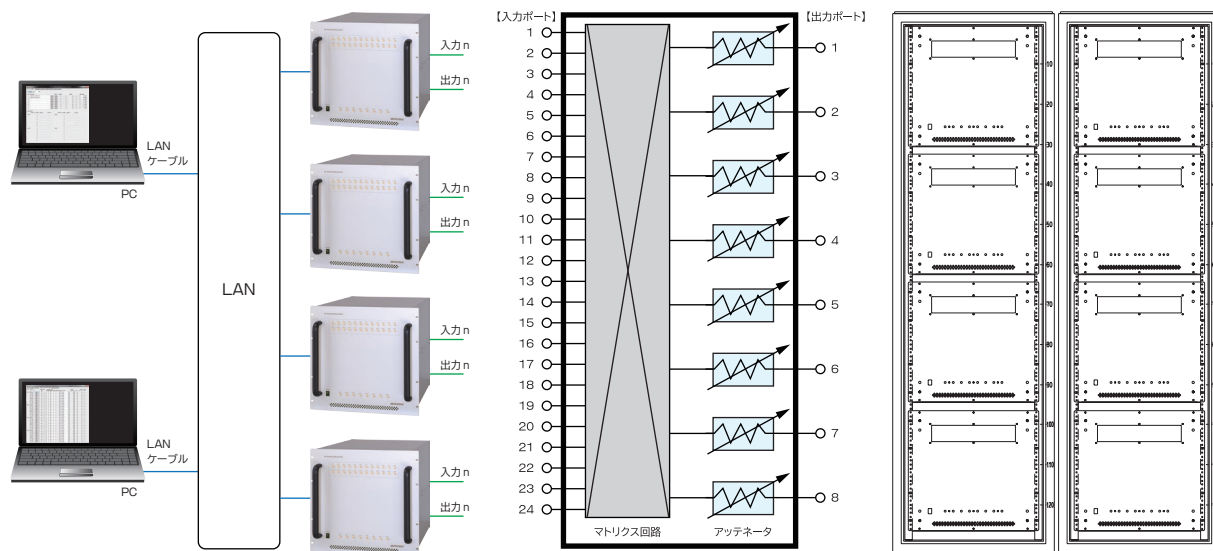


システム構成とラックマウント図

LAN内の複数のPCから同一ユニットの制御が可能

24×8マトリクスのイメージ
入出力経路を自由に切替できる

8台収納時のイメージ
44Uラックに4台収納可



※仕様・形状は、事前の断りなしに変更されることがあります。※実際の色とは異なることがあります。ご了承ください。

MICRONIX
マイクロニクス株式会社
〒192-0045 東京都八王子市大和田町2-21-2
TEL:042-649-3889 FAX:042-649-2113
URL : <https://micronix-jp.com/>

取扱店



WEBはこちら

CK2511